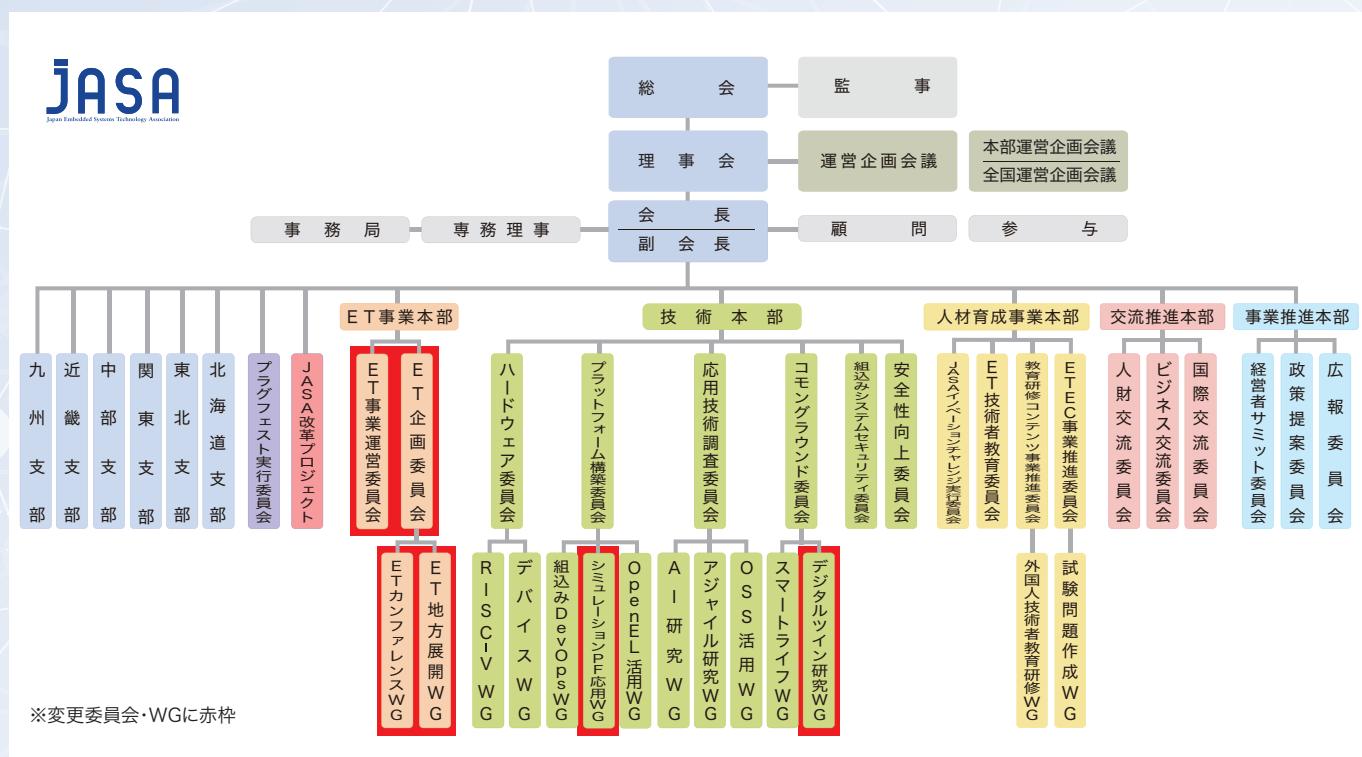


組織改編について



ET事業本部の組織変更について

ET事業の運営効率化を推進するため、明確な役割に基づく委員会構成に再編します。

- ・本部配下に、「ET企画委員会」と「ET事業運営委員会」を新設
 - ・「ET企画委員会」配下に、「ETカンファレンスWG」と「ET地方展開WG」を設置

従来のET展示会事業運営を、ET展示会企画と事業運営に分割し、役割を明確にすることにより、事業変革を推進するための最新技術とつながる総合展として、さらなる発展に向けた企画と運営を効率化し加速していきます。

ワーキンググループは、活動の実態に即して、重点的な取り組みを行っている「ET地方展開WG」と「ETカンファレンスWG」の構成として、「ET事業運営委員会」配下に配置しました。これにより、重点領域へリソースを集中し、より効果的な活動体制としました。

なお、「ET企画委員会」は、JASA会員企業からの幅広いメンバーを募り、組込み業界の新たな成長戦略を具現化すべく会員企業の英知を結集した企画検討をさらに拡大します。

技術本部のコモングラウンド委員会 及びプラットフォーム構築委員会の組織変更について

「コモングラウンド委員会」のワーキンググループ新設について

組込みシステム業界におけるデジタルツイン技術の普及と発展を目的として、「デジタルツイン研究WG」を新設いたします。本WGでは、会員企業との連携を強化し、共同でのプロジェクトや研究活動を通じて、デジタルツイン技術の社会実装と実用化を推進してまいります。主な活動内容は以下の通りです。

- OSS（オープンソースソフトウェア）を活用したデジタルツインデモの開発
 - インフラ協調型のロボット制御における、エッジ側の必要条件や技術的課題を調査研究
 - 展示会への出展を通じた、JASAにおけるデジタルツイン関連の取り組みを広く社会に発信
 - デモ環境のオープン化および会員企業が自由に活用できる基盤整備を通じ、業界全体の技術力向上への貢献
 - デモの開発・運用といった実践的な活動を通じた、WGメンバーおよび若手エンジニアの技術スキル向上と人材育成

「シミュレーションPF応用WG」の設置について

「ドローンWG」の今後の活動の方向性として、ドローン技術にとどまらず、さらに広義の組込みシステムシミュレーション技術全般を対象として活動するために、「ドローンWG」を「シミュレーションPF応用WG」に刷新し、「プラットフォーム構築委員会」配下に設置することにしました。これにより、シミュレーション技術を軸とした、安全検証やサービス検証をするための仮想環境実現を推進します。